



岩倉市業務改善運動

(i-リーグ2016)～実績報告～



1 岩倉市業務改善運動(i-リーグ)とは

職員の業務執行に関する創意工夫を奨励し、積極的に業務改善を行うことにより、職員の意識改革及び士気の高揚を図ることを目的とし、職員研修の一環として実施するものです。

i-リーグの「i」は、岩倉市の「i」、アイデアの「i」、愛の「i」というメッセージが込められています。リーグは、Jリーグなど認知度が高く、また気軽に呼び合え、親しまれるものとなっています。運動に参加する職員は、「i-リーガー」となります。

2 取り組み実績について

毎年7月1日から11月30日までの5ヶ月間、全職員が取り組んでいる業務改善運動、平成28年度は33チームが参加しました。

平成29年2月3日(金)には、各部より選抜された6チームによる発表会を開催し、発表会では、職員が取り組んだ成果を伝え広めようと、パワーポイントを使用しながら発表しました。当日は会場が満員となりました。

実施単位・チーム名	テーマ
消防本部総務課・住警器マン(仮)	住宅用火災警報器の設置率向上
都市整備課・営繕G	市営住宅業務の効率化
環境保全課・チームEPD	苦情経過の「見える化」
長寿介護課・業務効率い〜わ隊	問い合わせへの対応の効率化
子育て支援課西部保育園・ハッピーチルドレン	子どもとともに食育を考える
協働推進課・プロジェクトY〜調整者たち〜	行政区に関する業務のバージョンアップ

3 政策創造研究プロジェクトチームの発表

政策創造研究プロジェクトは、平成24年度から始まり若手職員を中心に構成された、岩倉市の課題と、課題を解決するための施策を考えるプロジェクトチームです。

今年度は業務改善運動の間に時間を設け、プロジェクトでの提案を発表し、職員だけでなく市議会議員、区長の方にも活動内容を聞いていただきました。



4 発表会を終えて

発表会は今回で7回目を迎えました。

市議会議員、区長、職員117名に参観していただき、緊張感のある雰囲気の中、創意工夫の凝らされたプレゼンテーションにより、どのチームも改善内容を分かりやすく発表していました。また、参観した職員のモチベーション向上にも繋がりました。



第1位は、西部保育園の皆さんでした

(担当) 秘書企画課秘書人事グループ